

## 【自分・人・郷土を愛し、未来を切り拓く「輝く自分」を育てる】

開校3年目を迎え、本校は「自分・人・郷土を愛する」という学校教育目標のもと、9年間の学びを一本の線で繋ぎ、川根本町ならではの豊かな教育を展開してまいります。

2016年は全国に22校、2026年には238校にまで右肩上がりに増加している義務教育学校、2年前に静岡県静岡管内では初の義務教育学校が川根本町で2校誕生しました。

川根本町が目指す0歳から18歳まで切れ目のない「シームレスな教育接続」、学校と地域の垣根を越え「シームレスに一体感を持って子供を育てる学校」、教育委員会と学校が互いの思いをつなぎ、「シームレスな連携」によって、子供の健やかな発達を促す子供たちの健やかな心身の発達を育んでいきます。

本校では、少人数校のメリットを最大限に活かし、全教職員で全児童生徒を見守る体制を整えています。一人一人が「自分らしい学び」を選択し、失敗を恐れず「挑戦」を繰り返しながら、『自らの人生をかじ取りできる力』を育んでいきます。

開校3年目、過去2年間の教育活動の中で見出した「義務教育学校の可能性」「小規模校のメリットを最大限に活かした教育活動」を具体的に形にする年であると考えています。

その具体として、年間4回、1年生から9年生までの「縦割りグループ」による学校生活（協働生活）の実施があります。登校してから下校まで、授業以外を異学年縦割りグループで生活することを通して、年齢や考え方の違いから生まれる多様な視点に気付き、それらを認め合いながら「新たな価値観を創造すること」や「コミュニケーション能力の向上を図ること」をねらいとしています。さらには、異学年集団による協働的な授業や道徳、自由進度学習を意図的に展開し、同学年の少人数では味わうことができない効果を期待しています。

さらに、地域とともにある学校を目指し、「職業体験学習」と「探究学習」をリンクさせ、「地域を知る」「地域の人から学ぶ」「地域の人に発信すること」を通して、川根本町の「人・もの・こと」の素晴らしさ、温かさを実感し、郷土愛の育成を図ります。つまり、町全体が「学び舎」であり、町民とのつながりを深めることで、さらなる郷土愛につなげ、子供たちの元気な姿で、この町の未来を明るく照らすことができるよう取り組んでいきます。

本校が目指す3つの資質・能力「挑戦」「創造」「協働」の具体的な姿を児童生徒と共有し、学年ごとに具体的な目標を掲げ、児童生徒の主体的な活動に寄り添いながら教育活動を推進していきます。

光の森学園ならではの特色ある教育活動は、保護者、地域の皆さまとの密接な連携がなければ成立しません。今年度も、皆様のより一層の御理解と御支援をお願いいたします。川根本町立光の森学園 校長 石川 泰宏